

第7回 日台法学研究シンポジウム

# 台湾における“脱原発”の 政治・行政・司法過程 ——日本法への示唆——

日時

2019年8月8日(木) 13:30~17:30

会場

佐賀大学経済学部1号館多目的演習室

13:30~13:45 開会式

13:45~14:30 第1報告

「未完で継続中の台湾における脱原発」

報告者 辛年豊(逢甲大学土地管理学系副教授)

14:45~15:30 第2報告

「台湾における脱原発の現状とエネルギー政策」

報告者 鄭明政(台湾・国立勤益科技大学通識教育学院  
副教授/同日本研究中心執行長)

15:45~16:30 第3報告

「台湾の第四原発の建設中止をめぐる憲政論争の回顧  
——釈字第520号を中心に」

報告者 李孝悌(国立高雄科技大学博雅教育中心助理教授)

16:30~17:15 コメント 周宗憲(台湾・国立勤益科技大学通識教育学院

副教授/同日本研究中心主任)

児玉弘(佐賀大学経済学部准教授)

自由討論

17:15~17:30 閉会式

通訳 孫友容(北海道大学大学院法学研究科研究員)

参加無料

【主催】2018年度JFE 21世紀財団・アジア歴史研究助成「台湾における“脱原発”の政治・行政・司法過程」・佐賀大学経済学部・佐賀大学経済学会

【お問い合わせ】佐賀大学経済学部総務係(Tel: 0952-28-8413)